

「第6回 星空案内人の集い& JAAAミーティング2014」

—地域での天文活動と古からの天文の系譜— (第5報)

毎回、ゆるく、気楽に、時に熱く、天体観望の情報・意見・ノウハウの交換と交流の場として南東北・北関東地域で開催してきた今年6回目の「星空案内人の集い」と、国立天文台を飛び出して4回目の総会を迎える日本天文愛好者連絡会 (JAAA: Japan Amateur Astronomers Association) の「JAAA ミーティング 2014」を同時開催します。

緑がゆれる栃木県大田原市のふれあいの丘にあるシャトー・エスポワールを会場に、第一部の特別講演では、国立天文台の先生方による国際天文連合 (IAU) と国立天文台の天文普及の取り組み、その活動と系外惑星の命名における天文同好会との連携に関するお話を、第三部はふれあいの丘にある天文館を借りきっての見学&観望会、第四部は一般の方の聴講可能な公開特別講演として『星の和名とその歴史について研究をされている北尾氏』、『アイヌの星について研究及び伝承を進めている山内氏』の講演を行います。活動・研究発表会、ポスター展示では、天文愛好者の観測報告や観望会など幅広く天文・宇宙科学に関する活動を発表、天体写真・資料展示、望遠鏡メーカーや天文ファン自慢の機材の展示、いろいろ飛び出す「ナンデモ市」も開催します。皆様の参加をお待ちしています。

- 会期:平成 26 年 6 月 28 (土)、29 日 (日)
- 会場:大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワール

栃木県大田原市福原 1411-22 Tel:0287-28-3131

※会場までの無料シャトルバス【事前申込制・時間厳守】

高速バスハウライバス停 12:20 発/JR 那須塩原駅西口 12:30 発

- 主な内容 (詳細は別紙プログラム、JAAA ホームページ参照)

<初日、6月28日 (受付開始 1:15)>

- 第一部 (研修室C)



★特別講演 1「国際的アウトリーチ活動と新たなる星の命名」(通訳あり)

- 1-1) IAU/OAO と国立天文台の取り組み 国立天文台 天文情報センター普及室長 縣 秀彦氏
- 1-2) 国際光年 2015 への IAU の取り込みと系外惑星の命名について 国立天文台 シーロン チェン氏 Sze-leung Cheung氏
- 1-3) UNAWE と IAU の活動についての紹介 ライデン大学/IAU ペドロ ラッソ氏 Pedro Russo氏

★JAAA 総会 [JAAA2015 京都大学/H27 年 6 月 27 日・28 日]

★活動・研究発表会 (7件)

★ポスターセッション・機材等展示・ナンデモ市

- 第二部 懇親会

- 第三部 ふれあいの丘天文館 2 時間占有見学

(雨天曇天時中止)

<二日目、6月29日>

- 第四部 (多目的ホール)

★JAAA 総会報告 ★活動・研究発表 (2件)

★10:00<公開特別講演「失われ行く日本の星をつなぐ現代の語り部」>

※公開特別講演は一般の方の参加も可能です、直接会場受付にお越し下さい (無料)。

特別講演 2 「わめいのほし (和名の星)」 (公財) 大阪科学振興協会 中之島科学研究所 北尾浩一氏

特別講演 3 「アイヌの星座」 Astro Ninja Projects 山内銘宮子氏

<活動・研究発表会の主な内容>
江戸時代の地理学者「長久保赤水と宇宙を覗く」、天体観望ノウハウ、「天文愛好者」VS「天文素人」その永遠の対立について、伝統的七夕、繋がれば広がる！地域で生きる天文活動～2012 金環日食観測学校支援～、LDEE & LIME 月面衝突発光現象観測、観測報告ほか



- 参加費：宿泊懇親会 (三食付) まで参加 13,000 円、懇親会・天文館見学も参加 (宿泊なし) 7,500 円、講演会・活動・研修発表会だけ参加 2,500 円、高校生以下 500 円 (懇親会費別・応相談)

- 参加・シャトルバス利用申し込み、問い合わせ先

天文サークル星空の会 吉田 裕 (JAAA2014 実行委員長) eメール: hiro-orion@vivid.ocn.ne.jp

※宿泊参加の申し込みは6月7日で締め切りました(宿泊のキャンセルは6月21日13時までをお願いします)。

- 主催: JAAA2014 実行委員会 (天文サークル星空の会 (福島県)、日本天文愛好者連絡会 (JAAA ☆ <http://c-moon.s3.xrea.com/jaaa/>))
- 協力: 大田原市ふれあいの丘天文館、福島県天文協会、すばる天文同好会 (高萩)、白河天文同好会 ●後援: 日本天文協議会 [(公社) 日本天文学会、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、星空を守る会、JAAA]



「失われ行く日本の星をつなぐ現代の語り部」

2014年6月29日〈日〉10:00~12:00

大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワール1階 多目的ホール

古来、人々は星の動きにより季節の移り変わりを知り、農作業や漁の標（しるべ）としたり、またその位置や今回、各地に残る高度をみることで旅の目安としたりと、生活に欠かせないとても重要な存在でした。現在、わたしたちが普段使っている星座や星の名前は、ギリシャ神話に基づいたものが大半ですが、日本にも大陸〈中国・韓国や東南アジア地域〉由来の星名や星にまつわる説話、また日本独自のそれらがまだ各地に残されています。しかし、それらは現在急速に失われつつあります。今回は、日本各地に残る星の名前や伝承を研究、記録されている、お二人にお話をさせていただきます。是非、大勢の皆様にご参加いただけるよう、ご案内申し上げます。



※一般公開講演のため参加費無料です。当日シャトー・エスポワール1階多目的ホールにお越し下さい。
※1階研修室Aにて「第6回星空案内人の集い&JAAA2014」参加者による天文写真展示等も開催しています。

「わめいのほし（和名の星）」

酒榊星、ミタラシボシ、紀州のみかん星、酔いどれ星など、暮らしのなかで様々な和名が生まれました。もちろん、スバルも和名です。実際は、スバルよりもスマルを広く記録することができます。スバルのグループの南限と、群れ星の分布も探ります。

真珠星は、古くから伝えられている和名ではない！ 平家星はベテルギウスではない、野尻先生の却下した和名「さむらいぼし」の謎、星の俚謡の世界、星の和名は、2014年においても記録できる！

21世紀になってからも、野尻先生の本に掲載されていなかった和名が記録できる、和名は、東京都内で記録できる、昭和20年代生まれの人も和名を伝えている、物語は語る人によって多様で豊かに変化していく…等、和名にまつわる意外な話を通して、暮らしと星が近かった時代へタイムスリップしませんか。

北尾 浩一（きたお こういち）氏

兵庫県在住、公益財団法人大阪科学振興協会 中之島科学研究所 研究員、東亜天文学会会員。
日本各地を、日本古来の星名伝承、俚謡を訪ねて歩いている。

著書、「ふるさと星物語」「星と生きる 天文民俗学の試み」「天文民俗学序説」等多数あり。
HP:「星・人・暮らしの博物館」「東亜天文学会民俗課」

「アイヌの星座」

山内 銘宮子（やまうち めぐみ）氏

東京都在住、Astro Ninja Projects 代表。
イベント等各種企画プロデュースを中心に活動すると共に、2010年10月より半年間行われた、国立天文台7期科学プロデューサー要請コース受講をきっかけに、天文宇宙業界に関わるようになり、北海道を訪れ際、深く関わることになったアイヌ民族の星座の紹介活動を行っている。
HP:「Astro Ninja Projects」<http://www.astro-ninja.com/>

「第6回星空案内人の集い&天文愛好者ミーティング (JAAA2014) —地域での天文活動と古からの天文の系譜—」
プログラム

平成26年6月28(土)–29日(日)／大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワール(栃木県)

○メイン会場

<1日目(6月28日)>

※敬称略

●第一部(2F研修室C)

[総合司会: 吉田裕・友田(和)]

13:15 受付開始 ※参加費をお支払いになり、資料、ふれあいの丘天文館・国立天文台パンフ、天文検定カレンダー等一式をお受取り下さい。

13:45 開会式

主催者挨拶(5分×2): 星空案内人の集い&JAAA2014実行委員長・天文サークル星空の会 吉田 裕
日本天文愛好者連絡会(JAAA) コンタクトパーソン 藤由嘉昭

開催地代表挨拶(10分): 大田原市教育委員会 教育長 新江 侃(あらえ つよし)

14:05 日本天文愛好者連絡会(JAAA) 総会

[司会: 茶木恵子]

①2013年度JAAA活動報告(藤由)

②2014年度JAAA活動と世界天文イベント(藤由)

③日本天文協議会報告とIYL2015への提案(友田S)

④JAAA-ML サービス移行報告(友田K)

⑤JAAA2018までの開催予定と候補地について【JAAA2015 at 京都大学/H27年6月27日・28日】(茶木)

⑥スタッフの任期と交代について(友田K)

14:35 休憩

14:45 特別講演1「国際的アウトリーチ活動と新たなる星の命名」

(90分+総合質疑10分: 簡易通訳あり【通訳 国立天文台 青木真紀子】)

1-1) IAU/OAO(Office of Astronomical Outreach)と国立天文台の取り組み

国立天文台 天文情報センター普及室長 縣 秀彦

1-2) 国際光年2015(International Year of Light 2015)へのIAUの取り組みと系外惑星の命名について

国立天文台 Sze-leung Cheung(シーロン・チャン)

1-3) UNAWEとIAUの活動についての紹介

ライデン大学/IAU Pedro Russo(ペドロ・ルッソ)

※IAU(国際天文学連合): *The International Astronomical Union*, OAO: *IAU Office for Astronomy Outreach*

16:25 休憩&ポスターセッション&ナンデモ市(1F研修室A: 50分)

※ポスター・機材等展示者が説明をします。また、ナンデモ市での販売も行います、掘り出し物があるかも?

17:15 活動・研究発表(7組)

①最近の活動状況の報告(10分)

夢集団星とロマンを語る会・塩谷支部 小原宏明

②天体観望ノウハウ(10分)

関東天文協会 田中千秋

③「繋がれば広がる! 地域で生きる天文活動」~2012金環日食観測学校支援~(10分)

藤原佳子

④「天文愛好者」VS「天文素人」その永遠の対立について(10分)

ひが企画 比嘉義裕

⑤LDEE&LIMEプロジェクト—アマチュア視点からのアプローチ—(10分)

天文生活 友田 哲

⑥観測・研究報告(15分)

浜野和天文台 浜野和博巳

⑦報告: 2012年5月21日の金環日食調査から(5分)

天教日食調査ワーキンググループ 友田和美

⑧依頼: 福島天文協議会より震災前後における観望に関するアンケートのお願い

福島県天文協会 佐藤 光

18:30 注意事項説明・休憩(宿泊する方は部屋に荷物を移動して下さい。)

●第二部(1F多目的ホール)

19:00 懇親会 ※ふれあいの丘天文館紹介・動画上映: 「公開天文台の作り方」 ふれあいの丘天文館 梁島隆

○ふれあいの丘天文館の施設見学は28、29日のみ参加証を提示すれば無料で入館出来ます。

●第三部

21:00 ふれあいの丘天文館天文館2時間占有見学(雨天曇天は中止になります)

<http://www.fureai-tenmonkan.jp/index.html>

●オプション「星見酒で語る会」(某所【誰かの部屋?】)

23:30–25:30 テーマと場所は参加者間で検討し希望者で2日目に響かない範囲で語りつくして下さい。

<2日目(6月29日)>

[総合司会: 吉田裕・友田哲]

●第四部(1F多目的ホール ※7:50会場セッティング。皆様ご協力を!)

8:00 日本天文愛好者連絡会(JAAA)総会報告

[司会: 友田和美]

※総会での検討事項に対する意見(アンケート集計)のまとめとそれを受けての今後の方針について

8:30 ガリレオ教室「銀河系中心が熱い!!みんなで注目しませんか?」

長野工業高等専門学校 大西浩次

9:00 活動・研究発表(15分×2組)

⑧「伝統的七夕」ライトダウン

伝統的七夕LD事務局、こども達に星を観せる会、理カフェ 茶木恵子

⑨江戸時代の地理学者「長久保赤水と宇宙を覗く(仮)」

すばる天文同好会(高萩市) 川口和彦

9:30 休憩&展示(1F研修室A)

10:00 特別講演(一般公開講演)「失われ行く日本の星をつなぐ現代の語り部」

・10:00 講演2「わめいのほし」(講演50分、質疑10分)

公益財団法人 大阪科学振興協会 中之島科学研究所 北尾 浩一

・11:00 講演3「アイヌの星座」(講演50分、質疑10分)

Astro Ninja Projects 山内 銘宮子

12:00 閉会式・解散

※那須塩原駅・高速バス「ハウライ」バス停行きシャトルバスは12:30と13:30に出ます。

○サブ会場(1F研修室A)

<6月28日14時~29日12時> 資料、写真、ポスター、自作機材展示、メーカー展示、ナンデモ市会場

※各自、ご自身で展示をしていただけますようお願いします。

●ポスター展示

①国際光年、IAU/OAOほか(講演でお話する内容に関する各プロジェクト等の紹介)

国立天文台

②「天文愛好者」VS「天文素人」その永遠の対立について

ひが企画 比嘉義裕

③LADEE&LIMEプロジェクト(1)「LIMEプロジェクトと月の観察」

天文生活 友田晴・友田哲

④LADEE&LIMEプロジェクト(2)「アマチュア視点からのアプローチ」

天文生活 友田 哲

⑤こども星見隊の活動、⑥神津牧場天文台のご案内、⑦鴨川市に天文台をつくろう会のご案内

関東天文協会 田中千秋

⑧「伝統的七夕ライトダウンキャンペーン2014」ほか 伝統的七夕LD事務局、こども達に星を観せる会、理カフェ 茶木恵子

⑨「星(宇宙)からもらった子どもたちの感動」&日食観測用ピンホール式投影機

藤原佳子(元・茨城大学 宇宙科学教育研究センター スタッフ)

⑩報告:2012年5月21日の金環日食調査から 天文教育普及研究会日食調査ワーキンググループ 友田和美・飯塚礼子

⑪世界一斉天文イベントの報告及び紹介

ACJ世界一斉天文イベントワーキンググループ 藤由嘉昭

⑫「だれでも気軽に星空ロマンIV」

星のソムリエ@西宮 西川典章

⑬銀河系中心が熱い!!みんなで注目しませんか?

国立高等専門学校機構 長野工業高等専門学校 大西浩次

⑭天文かわら版(天文関連イベントや話題のあれこれをご紹介します)

日本天文愛好者連絡会

●機材等展示

①自作観測機材(観察機材、撮影機材、観察事例紹介、ほか)

ふれあいの丘天文館 梁島 隆

②長久保赤水の復元観測機材、天体図資料

すばる天文同好会(高萩) 川口和彦

③自作観測機材(観測機材、撮影用自作機材ほか)

すばる天文同好会(高萩) 笹山友和

④カメラ三脚+カメラ+防滴フィルター+バッテリー

仙台天文同好会 比嘉義裕

⑤望遠鏡ほか、各種機材

国際光器((株)マゼラン天文機材部)

●天文写真等展示

①井深 剛

②新井智幸

③茶木恵子

④米田 晃

⑤吉田 裕

●ナンデモ市(28日16:25-17:15/一部 29日9:30-9:55)

①自作用部品類() 田中千秋

②ポストカード(アイヌ星座のオリジナルデザイン) 山内銘宮子

③望遠鏡パーツ類(+観測おたすけグッズ) 友田哲

④天文雑貨(オリジナル天文グッズ) てるてる座

<発表注意事項>

●発表される皆様へ

- ・資配布料：参加者に資料等を配布される方はできるだけ1日目の13時までに会場受付に資料を持参して下さい（参加者受付の折りに他の資料とともに参加者に配布するため）。それが難しい場合には、ポスターセッションの時間に準備し配布できるようにしますので、受付にお預けください。その際、資料は70部ご用意ください。2日目の公開講演に参加される方やポスターセッション会場でも配布したい方は追加をご用意ください。
- ・発表データ：会場にプロジェクターの準備をいたします。PCを接続して発表される方はPCをご準備下さい。PCを持参されない方は実行委員長（吉田氏）までご相談ください。吉田氏のほうでも念のためwindowsの準備をしてくださってます（パワーポイントのバージョンは2003になります）。

<ポスター・写真・機材・資料展示、ナンデモ市等注意事項【会場：1F研修室A】>

展示会場には実行委員のスタッフがスタンバイしていますが、貴重品等の管理には十分お気を付け下さい。展示会場はポスターセッション時間のほか2日目の公開講演の途中の時間（28日16:25-17:15/29日9:30-11:00）まで開場します。

●ポスター展示される皆様へ

ポスターを展示するパネルは、画鋸が刺さるタイプとそうでないものがあります。フェルト地のようなもので画鋸の刺さりにくいものもあります。画鋸と両面テープは実行委員会で用意しますので、それ以外のものを用いたい方はご持参ください。

ポスターセッションの時間帯（28日16:25-17:15/29日9:30-9:55）は、必ずご自身の展示の前にたち、参加者との意見交換・コミュニケーションにご協力ください。

●写真展示される皆様へ

写真の大きさ、サイズに制限はありませんが、1枚あたりA4程度でお願いできればと思います。できるだけ額などに入れていただければと思います。

●機材・資料等展示される皆様へ

機材の管理、安全確保には十分に気をつけることとし、不在時間帯に機材にさわられたくないような場合には、注意書きの紙を貼るなどの注意を払ってください。来場の方々に自由におとりいただきたい資料については、展示スペース脇のほうに用意するテーブルに置くようにしてください。

●ナンデモ市出展の皆様へ

市の時間は、基本的にポスターセッションの時間帯と一緒になります。物品・金銭の管理を伴いますので、時間帯以外の販売等は個人の裁量でお願いします。